

## こんにちは! 日本共産党の大名みえ子です・・・300号に

2006年6月1日から始まった (<http://www.jcp-net.jp/ibahoku/toukai/oono/index.htm>) 「大名みえ子ニュース」は、今号で300号を迎えました。



「私の議会内外での活動を少しでもお知らせできたら」と週1回発行を基本に、パソコンの使い方も文章を打つのがやっとという状況で第1号を発行しました。第1号を見ていただければ解りますが、ほとんど文章だけです。当然、発行し続けることができるか不安もありましたので当初、ナンバーを付けずにいましたが、2007年3月23日号が、ちょうど50回目となったのを機に、ナンバーを入れることにしました。

それでも、「活動の変遷がよく解る」と、改めて感じています。「こんにちは! 大名みえ子です」を、今後とも宜しくお願いいたします。

## 沖縄県の翁長雄志知事が、13日に行った名護市辺野古の埋め立て承認の取り消しを支持します

翁長知事は、第三者委員会の検証結果を受け、「関係部局で承認内容を精査したところ、取り消すべき瑕疵が認められ、取り消しが相当であると判断した。今後も辺野古に新基地を造らせないという公約の実現に向け全力で取り組んでいきたい」とのべました。

翁長知事の決断は、名護市長選、県知事選、総選挙などで繰り返し示され、動かしがたいものになっている沖縄県民の「新基地建設ノー」の総意の実現にむけた英断です。

圧倒的な民意をまったく顧みず、辺野古移設が「唯一の解決策」などと強弁し、新基地建設に突き進む安倍政権の暴走は絶対に認められません。むき出しの強権による強硬策しかないのは、安倍政権の深刻な行きづまりを示すものであり、この道に未来はありません。

辺野古の海を埋め立てて建設されようとしている米軍新基地は、普天間基地の「移設」などという生やさしい代物ではありません。2本の滑走路を持ち、強襲揚陸艦やタンカーも接岸できる巨大な軍港や広大な弾薬搭載エリアなどを備えた最新鋭の巨大基地であり、耐用年数200年という半永久的な基地です。新基地は、海兵隊がオスプレイなどの訓練をくりかえしているキャンプ・ハンセン、高江などの北部訓練場、伊江島飛行場などとも連動して、海兵隊の基地機能は飛躍的に強化され、巨大な出撃拠点に大改造されることとなります。

これまで以上の重大な基地負担増を押しつける新基地建設は、沖縄県民にとって絶対に受け入れられないものであることは当然です。

沖縄県民が島ぐるみであげている「新基地建設ノー」の声を、安倍政権が無視し続けることが許されるのか、今、まさに問われているのは、日本の民主主義そのものです。

日本共産党は、安倍政権に対して、新基地建設の断念、普天間基地の無条件返還を求めるとともに、「基地のない沖縄」をめざす沖縄県民の決意に、日本国民全体がこたえ、沖縄に連帯するたたかいを全国で発展させることを、心から呼びかけます。